

第 9 期仙台市介護保険事業計画策定のための 実態調査(要介護者等調査)について

1 目的

本調査は第 9 期介護保険事業計画の策定にあたり、保険給付の将来推計の基礎となる介護サービスの利用状況・利用意向を把握するとともに、負担とサービスのあり方や保険外サービスの利用状況など、介護保険事業を含む本市高齢者施策に関する要介護者等の現状把握を目的として実施する。

2 実施期間

本年 10 月上旬に調査票を発送し、3 週間程度で回収、その後集計・分析を行い、本年度中に調査結果を取りまとめる予定。

3 調査対象者

本年 8 月末時点で仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている方から日常生活圏域（居住している中学校区）を考慮して無作為抽出した 5,000 人を対象。

4 調査方法

- (1) 調査票の設計，調査対象者の抽出については，本市が直接実施予定。調査票の発送・回収や調査結果の入力・集計・分析作業は，各種の調査実績を有する業者に委託して実施。
- (2) 調査対象者宅に調査票を郵送し，記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送してもらう郵送方式。なお，特別養護老人ホーム入所者については，施設職員から調査対象者等に配付してもらう予定（施設入所者に係る質問項目のみを抜粋した調査票を別途作成）。

5 調査項目（案）

前回調査（令和元年度実施）で使用した調査票をベースに，調査項目の加除・修正を行う。※調査票の新旧対照は資料 2-2 を参照。

(1) 設問自体を追加するもの

- ① 新型コロナウイルス感染拡大に伴う介護サービス利用回数に関する設問 問 19(1)

(2) 設問自体を統廃合・削除するもの

- ① 前回調査票 問 12（要介護等認定期間について妥当と思われる長さに関する設問）
→ 認定期間は被保険者の心身の状態等により決まるため。
- ② 前回調査票 問 19（保険料と仙台市独自の介護保険サービスに関する設問）
→ 前回調査票 問 18 と重複する内容のため。
- ③ 前回調査票 問 32(4)（NPO 等が提供するサービスを利用したくない理由）
→ 同じ 問 32(2) と重複する内容のため。

④前回調査票問 42 (利用者負担額に関する設問)

→制度改正から時間が経過したため。

6 今後のスケジュール

令和 4 年 8 月	委託事業者選定
令和 4 年 8 月	調査票確定, 調査対象者抽出
令和 4 年 10 月	調査票発送, 回収
令和 5 年 1 月	調査結果集計 (単純集計)
令和 5 年 3 月	調査報告書完成

7 参考 (前回調査の実施状況)

(1) 調査期間

令和元年 10 月 31 日～11 月 20 日

(2) 調査対象者

令和元年 10 月末時点において, 仙台市介護保険被保険者資格を有しており, かつ, 要介護認定等を受けている方 (約 46,000 人) から日常生活圏域 (居住している中学校区) を考慮して無作為抽出した 5,000 人

(3) 回収率等

有効回収率 54.5% (回収数 / 標本数 = 2,725 / 5,000)